



札幌 YWCA
 〒060-0807
 札幌市北区北7条西6丁目
 北海道クリスチャンセンター内
 Tel & Fax: 011-728-8090
 E-mail: sapporo@ywca.or.jp
 振込先: ゆうちょ銀行
 加盟者: 札幌 Y.W.C.A
 番号: 02710-9-49613

知る力と見抜く力とを身に着けて、
 あなたがたの愛がますます豊かになり、
 本当に重要なことを見分けられるように。(フィリピの信徒への手紙 1章9節b、10節a)



小さな教会のクリスマス

札幌元町教会牧師 高濱梨紗

キリスト教本屋大賞 2015 に選ばれた『エッセイの木』（ジェラルディン・マコックラン著／沢知恵 訳／池谷陽子 絵）という本があります。キリスト教書店で手に入れてから何度ページをめくったか分かりません。旧約聖書からイエス・キリストの誕生までを大工のおじいさんが少年に語り聴かせる物語です。美しい文章とストーリーに魅せられるのはもちろんのこと、わたしは池谷陽子さんが版画で掘られた人間たちの「手」が大好きです。本に登場してくる人たちは、男も女も子どももみんな大きくてゴツゴツした手をしています。身体の割にガッチリとした手を眺めながら、これは農民の手だな、水仕事を毎日している人の手だなと思い巡らせています。なぜ池谷さんが描かれた人物の「手」に惹かれるのだろうと考えてみました。すると思い浮かんだのは幼い頃毎日目にしてきた祖父の手と似ていることに気がついたのです。わたしの祖父は土木仕事を本業としながら米や野菜を作っている田舎の百姓でした。土と共に生きてきた祖父の手は決してキレイなものではありません。爪はボロボロで、ひび割れている太い農民の手をしていました。

百姓の祖父の背中を見ながら育ちましたので、幼い頃から家で作った米や野菜を食べていました。今ならそれがどれほど命の営みに繋がる豊かな生き方であるのか理解できますが、思春期を迎える頃になると田舎の価値観が根強い家族のことを恥ずかしく思うようになっていきました。そんな「田舎」出身のわたしは設備の整ったキリスト教主義の学校に進学をし、キリスト教と出会い、教会に通うようになります。家から30分自転車に乗り、25分電車に乗って、約1時間かけてちょっと町にある大きな教会に通っていました。当時の自分にとって教会に集っていた世界を舞台に活躍する人や博学な人たちに刺激と憧れを抱きました。そして寒さが厳しくなるこの季節になると、クリスマス一色になる教会の雰囲気胸を躍らせたものです。

洗礼を受けてからの10年間、比較的大きな教会でクリスマスを過ごしてきましたが、2015年12月から東区にある札幌元町教会という小さな教会で働きを与えられています。去年は新しい教会で迎えるはじめてのクリスマスでした。大きなパイプオルガンや聖歌隊賛美はないけれど、小さなろうそくの灯りに照らされて心静かにクリスマスの喜びをお祝いする礼拝を守りました。田舎が嫌だと思い、もっと広い世界が見たいとキラキラしたものに目を奪われてきましたが、立ち止まって考えてみるとイエス・キリストの救いの出来事は小さな田舎町でひっそりと起ったことを思われます。今までは自分を大きく魅せることに気を取られてきましたが、近頃は肩の力を抜いて「泥くさいわたしでいいや」と思っています。まずは自分の育ってきた環境、家族、養われてきた性格を自分の手で受け止めてあげることからはじめてみようと思います。今年もクリスマスがやってきます。どうか、去年よりも余分なものが削ぎ落されて、与えられた命を喜んで生きていけますようにと祈りつつ、今年も小さな自分の教会でクリスマスを迎えられることに感謝をしたいです。



Y's Café 便り

*クリスマスプレゼントに、サンタクロース・クリスマスツリー・雪だるまをあしらったスポンジはいかがですか？昨年大好評だったので、今年も入荷いたしました♪



*期間限定の“アップルケーキ”が大人気です。りんごの香りと歯触りが、しっとりしたケーキのアクセントになっていて、とても美味しいですよ。この時期、温かい紅茶と一緒にいかがですか？

*Y's Cafe は、ボランティアを募集しています。

自分の大切な時間を少しだけ YWCA の活動に用いていただけませんか。私たちみんなで作り上げる Y's Cafe です。楽しみながら、時には自分とは異なった意見に耳を傾けて、時には自分の考えも行ってみたいり・・・。

たくさんの方々のボランティアお待ちしております。

*Café 休業 12/23 (金) ~1/9 (月)

今年もありがとうございました。新年は 10 日 (火) から営業いたします。来年も、Café をご利用くださいますようお願いいたします。

* 神愛園清田訪問 *

10 月 18 日 (火) 7 名で神愛園清田に訪問してきました。出前の「YWCA 喫茶」です。

珈琲と YWCA の伝統のパウンドケーキをととても喜んでくださいました。皆さんの声を上手に拾って盛り上げてくださった高嶋さんの名司会と、急なキー変更にも対応できる小林瑛子さんの名伴奏、息もぴったりで、素晴らしかったです。懐かしい唱歌やさんびかをご一緒に沢山歌ってきました。

「この日を楽しみにしてたのよ」とおっしゃる方や、「お上手ですね～」と声を掛けると嬉しそうにニッコリ笑ってくださる方……和やかに、楽しい時間を過ごしました。また、職員の皆様も歓待してくださり、最後には美味しい紅茶をご馳走になりました。

今回、神愛園施設の見学目的で初めて参加された方もあり、実りある時間になりました。ぜひ、又来年も訪問したいものです。

* YMCA・YWCA 合同祈禱週 *

11 月 18 日 (金) 世界 YMCA・YWCA 合同祈禱週の集會に、高橋会長他 2 名で出席してきました。

テーマ「誰も置き去りにしない」 奨励 稲生義裕牧師 (日本キリスト教会札幌豊平教会)

30 名程の参加者で、豊平教会の「朝ごはん食堂の取り組み」の様子を聞き、互いの交流の時間を持ち、祈りを合わせました。

(写真は稲生義裕牧師と YWCA の紹介をする高橋洋子代表)





花さき山

斎藤 隆介 / 作

滝平 二郎 / 絵

岩崎書店

やまんばの語り口で始まるお馴染みの『花さき山』は、1969年12月30日発売以来、幅広い年齢層に愛されるロングセラーの絵本です。斎藤隆介の民話風のストーリーがとても分かりやすいだけでなく、滝平二郎の手になる切り絵の美しさが大好きで、子育て中4人の子供たちが誦んじるほど読み聞かせした絵本です。

あやという女の子が山道に迷って、やまんばという老婆に会います。そこには一面美しい花々が咲き誇っています。やまんばは、麓の人間がやさしいことを一つすると、一つ花が咲く、誰かの為に思いやりの気持ちをもつとまた一つ咲くと話してくれます。あやの生活の中での体験を通して丁寧に伝えてくれていることで、あやならずとも聞き手の心にも穏やかな説得力をもって余韻が広がるのです。『花さき山』は児童福祉文化奨励賞やブックデザイン賞を受賞し学校図書選定図書にも指定されている名作です。

27年ほど前、一番年下の娘と同年で仲良しのお向かいに住むあさみちゃんの4歳の誕生日に『花さき山』をプレゼントしました。数日後あさみちゃんのお母さんが「『花さき山』を有難うございました。あの本が大好きで毎日何回も読まされています、この頃は寝る前に『今日あさみは何個花を咲かせた？、あいちゃんもお花さかせたかな？』などと言いながら寝つくんですよ。」と嬉しそうに伝えてくれました。夕食時その話をしたところ、しばしの沈黙のあと8歳の次男が「俺は、今日3個咲かせたな！」と切り出したのに続いて6歳の三男が「僕は、5個だな！」すると優等生で通っている次男が納得がいかないとばかりに「お前が俺より多いはずないんだ！」そこに真打登場です。珍しく静かに聞いていた10歳の長男がおもむろに妹に向かい「あいちゃん、花さき山の花はね、一ついいことをしたら、一つ花が咲くけど、すぐ枯れてしまう花もあるんだよ。今ね、ゆうじろう人の悪口言ったから花さき山の花は一つ枯れてしまったんだよ。」この言葉に再び食卓はしばし沈黙に包まれました。ことの成り行きを黙って聞いていた私は、心の中で（…枯れる花も確かにあるかも…）と、妙に関心し唸りました。

文庫を開いていると、絵本を通して子どもの内からほとばしり出る言葉に、ハッとさせられることが度々あります。それはまた言葉と言葉が触れ合うことで、新たな物語へと紡がれていく様もたまらなく面白い瞬間なのです。心の中の花さき山に、今日は1輪花を咲かすことができたろうか？ クリスマスを前に世界中の子どもたちの心の中にも憎しみではなく、やさしさの花を咲かすことができますようにと祈らずにはられない。

※ばらのおうち文庫は第1～第3木曜日に清田区で開催されています。 [検索](#) → ばらのおうち文庫

フォローアップスクール体験学習開始

2016年11月～2017年2月は、理科実験教室・体操教室・クリスマスリース作り教室・リースパン作り教室・英会話教室を行っています。

これらの体験学習は、札幌市子ども未来局の補助金で運営されています。

☆リース作り教室の様子（次回は12月10日13:00～15:00）

11/12（土）に1回目の講習が行われました。先生が、「りんごは収穫、赤い実はイエス・キリストが流された血、ベルは魔よけ、緑は永遠の命、松ぼっくりやどんぐりは豊作などの意味があるんですよ。」と、飾りの意味を説明してくださいました。参加した子どもたちは、真剣に先生のお話を聞いています。そして、ドライフラワーや木の実・ヒバなど、グルーガンを上手に使用して飾っていきます。個性的で、世界に一つしかない自分だけのクリスマスリースの完成です。後日、「部屋に飾ったよ」「お姉ちゃんがうらやましがってた」などに感想を聞かせてくれました。



☆リースパン作り教室の様子

11/26（土）、定番のクリスマスレシピ「リースパン」を作りました。集まった生徒たちは目の前にある材料を見て興奮気味♪「テレビで見たことある」「あれは機械で作るものだよな？」と、作る前から大騒ぎです。発酵させている間、講師の方が作ってきた見本を食べて、出来上がりを待ちわびる姿がかわいらしかったです。今年も上手に焼き上がり、大事そうに持って帰りました。



エンジェルボイスの活躍

11/28（月）、クリスチャンセンターに於いて、『クリスマスフェスタ 点灯の集い』が行われました。2012年から始まった点灯の集いも今年で5回目を迎えます。初年度は「YWCA 英会話教室」の生徒だけでしたが、2013年からは同年5月に開講した「月寒英会話・そろばん For kid's」の生徒も参加するようになり英語で讃美歌を披露しています。2014年以降は月寒教会イブ礼拝に於いても讃美歌を讃美しています。

今年度の詳細は、次号でお伝えいたします。お楽しみに！



2012年12月1日



2013年11月25日



2014年12月1日



2015年11月30日